

## 県平和委員会 活動交流集会開催 (3月12日)

# 「2000万署名の目標をやりきる」「仲間づくりと組織強化」!



3月12日(土)、午前10時から、青少年会館に於いて県平和委員会活動交流集会が開催されました。全体会の司会は山口さん(石岡)でした。内容は①「2000万署名のとりくみ」②「仲間づくりと組織の強化」です。

水野代表理事の開会挨拶に続いて、木村事務局長から30分の趣旨説明がありました

組織の強化については、

「しもつま(青木さん)」が、「昨年10月に結成した。活動するにしても財政がない。飲み会などの交流会を行って、会費の一部をカンパしてもらい少し手元に残った。活動を楽しみながら安倍政治を許さない取り組みを進めている」と発言しました。

「牛久(遠藤さん)」は、「昨年12月に結成した。会員が7~8名から13名になった。牛久独自の学習会をやろうということで、琉球大学の教授であった太田先生を囲んで継続して取り組む。県南平和行進実行委員会も進める」と発言しました。

「つくばみらい(岡本さん)」は、地域の平和の会の歴史に触れながら、「国会周辺の集会や抗議行動に積極的参加している。2000万署名では3の日行動、9の日行動などにとり組んでおり、戦争法廃止の毎月19日行動も進めている」と発言しました。

「つくば」からは諸事情で参加がなかったため、伊達さん(代表理事)が、「沖縄ツアーに参加した仲間が、『標的の村』をつくばで上映したいという声の中で結成した。今まで平和委員会がなかったことこそおかしかった。現在25名で取り組んでいる。これからは仲間を増やしたい」と報告しました。

2000万署名のとりくみでは、「北茨城・藤田さん」、「ひたちなか・大和田さん」、「内原友部・稲田さん」、「土浦・古沢さん」、「石岡・斉藤さん」、「阿見・水野さん」、「石岡・山口さん」、「なか・川又さん」など、質問を含めて13人の報告、発言がありました。(詳細は次号)

分科会は午前中の討議をもとに、ざっくばらんに語り合う場としました。全体をA班とB班の2班に分け、A班の司会は岡本さん(つくばみらい)、B班の司会を風間さん(鹿行)にお願いしま

した。参加者は全員発言。時間が足りない状況でした。

分科会は15時に終了。その後山口さん(石岡)の司会で全体会を開催。A班の報告を諸星さん(鹿行)、B班の報告を海老沢さん(内原友部)が行いました。

最後に堀江代表理事の閉会挨拶で、15時30分に終了しました。

### 地域の状況に応じた多様な 取り組みを展開している仲間たち!



この交流集会で、各平和の会・平和委員会がそれぞれに、地域の状況に応じた多様な取り組みが展開されていることが確認されました。その一方「平和の会・平和委員会が取り組んでいます」という高い声のアピールが、もっとも必要であることも確認されました。

2000万署名は「一人10筆以上 全体で10,000筆以上」の目標実現に向けて大きく動き出しているものの、到達数は3700筆で、まだ半数にも達していません。しかもそのうち1500筆は北茨城平和の会が集約したものです。あと6週間でやりきることも確認しました。

### つくばみらい平和の会「定期大会」を開催しました! 2名の新しい会員を迎え、平和新聞購読者が2名増!

つくばみらい平和の会は定例役員会を開催しています。2月22日(月)では、15人が参加して定期大会を開催、活動を総括し、取り組みを確認しました。

2月19日、国会議員会館前の集会「私たちはあきらめない! 戦争法廃止へ! 安倍内閣は退陣を! 総がかり行動」に5人参加。2月21日開催された国会大包围「止めよう辺野古埋め立て!」には1人が参加しました。2月22日には、15名の参加で定期総会を開催しました。また3月1日には、県南平和行進第1回実行委員会を開催しました。この間、2名の新しい会員を迎え、平和新聞購読者が2名増えました。

討議事項では、「つくばみらい平和かわら版・3月号」の発行。「平和学習会 沖縄基地問題・近現代史」の準備。「3・19 総がかり日比谷大集会」「国会正門前 戦争法反対・戦争する国許さない3.29閣議決定抗議集会」の参加。3/26に予定されている「絹の台地署名行動」の具体化など、2000万署名の取り組みや平和パネル展の準備などを検討しました。(つくばみらい岡本さん)

## 「野党共闘実現と安倍政権の退陣 について今何をなすべきか」

「中野晃一氏」 立憲デモクラシー・市民連合代表

と き : 4月13日(水) 午後6時~

と ころ : 水戸・総合福祉会館コミュニティホール

■「茨城県市民連合」を結成します。多数参加しましょう。  
県内各野党代表による挨拶・意見表明も進めています。



## 「原発をなくし、再生エネの爆発的普及へ」

講師 : 吉井 英勝 氏

(エネルギー地域経済研究会代表・元衆議院議員)

と き : 4月16日(土) 13:30~16:00

と ころ : 茨城県総合福祉会館・大研修室 Tel 029-244-4545

資料代 : 500円 (先着150名)

2006年12月、第1次安倍内閣の当時、吉井氏は「大地震による送電鉄塔の倒壊で、冷却系を作動させる外部電源が得られなくなる。バックアップ電源が取れなければ燃料棒損傷に至る」と指摘しました。安倍首相は「安全確保に万全を期している」と答弁しました。そして2011年3月11日の原発事故。

警告が活かされず「安全神話」が作り出されていました。「安倍政権の原発推進政策」と「東海第二原発を廃炉にするための課題」についてもわかりやすくお話いただけます。

主催: さよなら原発いばらきネットワーク Tel 090-3342-4638

## 平和新聞

2016年3月35日(金曜日)

2105号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 743

2016.3/25

発行 : 茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 全国に呼応！ 3.11反原発水戸集会

## 175回目の金曜行動



「未来のために ひとりひとりの脱原発」＝福島原発から5年＝を掲げ、日本原電前茨城総合事務所脇の県道沿いで「第175回目 原電前抗議アクション」が取り組みました。

昨年までは、水戸駅南口のデッキで「メモリアル・デー」として取り組みましたが、今回は各地の原発の再稼働の動きを受け、「東海第二原発再稼働反対」抗議アクションと連帯した取り組みとなりました。

集会は「黙祷」から始まり、次いでリレートーク、詩の朗読を行いました。

毎週の抗議行動で中心になって頑張った鈴木さんが作詞・作曲した、「想像してごらん」（原発事故が起きたらどうなるか）の歌を参加者全員で唱和しました。またシュプレヒコールで「原発ゼロ

社会の実現」 「原発再稼働は許さない」をアピールしました。

水害を受けた常総市に住んでいおり、自身も大きな被害を受けた入江赳史さんは、「住民が水害で苦しんでいるその最中に、戦争法強行のため国会議員に禁足令を出し、被災地の視察にも出てきなかった国会議員を私は絶対に許さない」と声をあげました。



### つれづれに短歌を詠む

水野秧一郎 (阿見平和の会)

春日和 七つのひ孫 駆け競べ

老いは寂しく 負けは負けなり

此の身には 肩の荷物が重きかな

ひしひし迫る八十路の坂

我が人生 命の限り 子の為と

火種を踏んで 寒空をゆく

戦争へ 国の為よと 惑わされ

命を無駄に するなかりけり

### 竜ヶ崎だより

(竜ヶ崎・富山勝)

暴走する安倍政権ですが、昨日は参院選向けに露骨な反共攻撃で野党連立の分裂攻勢に出てきたようです。

戦争法廃止、消費税増税反対、TPP批准阻止、年金・医療など社会保障制度改悪反対のうねりが大きくなればなるほど、政権側からの反抗は必至と思います。

我々にとっては、日本の政治に立憲主義と民主主義を取り戻すためにも一時も休んではられません。平和委員会の日頃の活動に心より敬意を表します。

竜ヶ崎では、毎年、独自に実施している5月3日の憲法記念日の本年の集会では、「憲法会議」代表幹事の川村俊夫氏の講演を中心に150人規模で実施することが決まりました。また、6月12日には映画「戦場ぬしみ」上映会の実施も決めています。また、「2000万署名」行動にも連日がんばっています。まずはご報告申し上げます。

なお、憲法記念日集会と映画上映会についてはぜひ「かわら版」で紹介して下さい。

### 3.11ピキニデー報告

## 被災62年 核兵器のない世界へ新たな行動を「核の傘」ノー！戦争しない日本を

報告：加藤岑生

今年の3・1ピキニデー行事は2月28日(日)国際交流会議(茨城一名参加)、2月29日(月)東富士演習場ウオッチング(28名中茨城3人)、日本原水協全国集会・全体集会・7つの分科会(800名中、茨城から7人全員参加)3月1日献花墓参平和行進・久保山愛吉氏墓前祭(参加1500名)・被災62年3・1ピキニデー集会(同2000名)が行われた。

茨城は県原水協2名、笠間1名、古河2名、日本民主青年同盟茨城県委員会1名、日本共産党茨城県委員会1名、男性3名、女性4名、貴重な青年1名の参加でした。

今年の集会の特徴は日本を「戦争する国に反対する」2000万の署名行動、七月の参院野党五党統一候補擁立の合意を反映し、大きく盛りあがりました。シールズの代表からも連帯挨拶がありました。

加えてマーシャル諸島共和国から前外務大臣が初めて参加されました。マーシャル政府は二年前、核保有九か国を核軍備撤廃の交渉義務違反、慣習国際法違反で国際司法裁判所に提訴しました。太平洋全体のピキニ水爆実験被害の実相を明らかにすると同時に闘いを互いに励ますものになりました。

そして英国の「核搭載潜水艦「トライデント」更新よりも国家の予算を生活に回せ」の運動と数万人の集会(2月27日、土曜日)があり、核兵器のない世界を求める英国の運動が大きく盛り上がっていることが報告されました。

さらに結成60周年を迎えた被団協が新しい核兵器廃絶の国際署名を提起したことです。この署名は核兵器廃絶の流れが押しとめられない世界世論を促進するもので被爆者の最後の願いです。被爆者とともに世界の世論の喚起と日本国民の統一と団結を願った提起です。

私は、今回ほど心躍り、励まされた事が有りません。全国から2000人が一堂に会し、新署名と私たちの運動に確信を持つことができました。

これから平和行進、世界大会と続きますが、私たちの運動を少しでも前進させるために頑張りたいと思いました。